

伴奏講座

第9回、参加者の感想その2

1泊2日

日にち：2月11日(土祝)～12日(日) 会場：川崎市民プラザ

《参加者の感想など》…講座終了後一言ずつ述べていただいた感想の中から…

7人のメンバーで楽しく演奏が出来てよかったですと思います。“おかず”もちゃんと入ったしメロディーも入ったし。反省すべきは「この青い空のように」の中で「ディミニッシュ」を使いたいといったのはいいが「C#」だけは指が取れたんだけどディミニッシュが取れなくて悔しい思いをしました。

来年は、また仲間を誘って来たいと思っています。(Yさん)

2回目の参加です。去年、「来年も絶対に来ます」と言ったので喜んで来ました。教室の仲間の中には「何で伴奏講座に行くの？」っていう人もいます。でも歌の伴奏と言うのはこの雰囲気というか、独奏や合奏とはまた違った特別なことだと私は思っているのです。

毎月2回、1～2箇所老人ホームに行って弾いています。ちょっとでも“おかず”を入れようと思う気持ちになっているのでまた少し向上したいと思っています。

きょうの発表ですけど、すみません2回とも前奏まちがえました。(Sさん)

夕食後の交流会で初めてリクエストしてみんなで歌ったのと、何方かから要望があって前で伴奏した経験が、緊張はしたんですけどすごく楽しかった。(Kさん)

私は4～5回目の参加です。今日は青山先生のクラスでやりました。「合いの手」の

ところで青山先生がジャズ風にやられたので“あっ、これも出来るんだ”と思ってやったらすごく面白くて楽しかった。それで本番では、練習でやっていなかったスイッチの切替なんかを試みたもんだから失敗しちゃいました。(Oさん)

始めて参加しました。楽譜どおりに弾くのが主体だったけど、今回、同じ譜面でもいろいろなコードの付け方があるって云うことを身をもって教えていただきました。伴奏って言う切り口からの講座はとても新鮮でした。先生の言われた「音楽の三要素」、「アルペジオ」、「オブリガード」、「前奏、間奏、後奏」とか、無意識にやっていたけど、これから意識して練習しようと思いました。来年も是非お願いしたいと思います。(Mさん)



川崎の生田から来ました。初めての参加です。伴奏については、一応自分なりに本など買って読んではいらんですけども、やっぱり解らないですね。きのうと今日で池田さんから詳しく教えていただいて、音の大切さって言いますか、それを十分知ることが出来ました。これからも音を大事にして続けたいと思います。(Yさん)

初参加です。地元、江戸川の方で月1回「うたごえ喫茶」を第二水曜日の午後継続的にやるようにしております。そんなことで伴奏のことがすごく気になるので参加しました。

関東アコ existence を知ったのは 2005 年、

赤羽会館で発表会があることを知って聴きにも行きました。是非自分でもやりたいと楽器を求め、段々に気持も高まって2007年に初めて“シニアの部”で演奏交流会に参加しました。そのとき感じたのは、関東アコの運営が非常にきめ細かくて、お金も払わないのに実行委員会ニュースを送ってくださる(笑い)勿論講師の話も大変素晴らしくて、こんな事をボランティアでやっている団体がこの厳しい世の中に存在して、しかも続いていることを知ったときのうは言葉も出ないくらい感動しました。と云うことで、自分の出来る範囲でお手伝いしたい。(Tさん)

今回入れてもらった青山先生のグループで実践された“グループで伴奏譜の作り方”は自分のサークルでもあのような形で、先生に頼まなくても編曲が出来るんだっていうのが今回の収穫だと思います。自分ひとりでは出来なくても何人が集まれば合奏曲のような伴奏譜が出来ちゃうっていうのは収穫でした。(Tさん)

3~4回目でしょうか。私は、とにかく音が出ていれば嬉しいと言う人間なので基礎的な力を伸ばす努力をあんまりしてこなかったような気がします。ただ、少しずつやっているとなんか進歩するようになる。講師の言うことは毎回変わるわけじゃないし基本的に同じことですけど、結果的にこういうように解るようになってきたというのがあって参加しています。(Nさん)



2回目の参加です。伴奏をやりたいとずっと思っていたんですけどやり方が解らなくて前回初めて参加した時に基本的な

ことや要領を教えてもらったので、自分で楽譜を作ったりひそかに練習していました。そろそろ仲間が何人が集まったときに簡単な曲を弾いてみたいなあと思っているので、また来年もあればいろんな発見があると思うので参加したいなあと思います。(Aさん)



私は青山先生のグループの3班に入団ですけど遅れて来たのでだいぶ出来上がっていて“おっ、すごい”と思ったんですけど、本当に集団の力で伴奏することの面白さを頂きました。

デイサービスで仕事をしていると、ヘルパーさんが持ち回りで、いろんな懐かしい歌を、オカリナだとかギターだとか楽器に縁のなかった人でも扱える小さい楽器で何とか盛り上げようと一生懸命やっているんです。で、アコーディオンを持っていったら、リズムからメロディーから出来ちゃうでしょ。アコーディオンいいわねって喜んでいただけるんですね。

最近、昔の日本の歌のよさを発見することがあるんです。スタイルがあって、歌の1番、2番があって、2番の後にまた間奏があるんですね。それも結構長い間奏が昔の歌にはあるんですね。「リンゴの歌」とか、あれってすごい勉強になるので是非そういう曲もちょっと勉強してみてボランティアに行ってみるとか、そうすると本当に喜んでいただけるので二重の勉強になると思うので皆さんもやってみてはいかがでしょうか(Hさん)

広島から来ました、2回目です。一応伴奏もちっちゃい所でやっているんですけど、コードが楽譜に書いて無かったら“これどうやってやるの”って他人に聞きながら

という感じで、自分でつけれないんですね。前回は教えていただいて、今回とで少し出来そうかなと思っています。(Wさん)

町田から来ました。初めての参加です。アコーディオンは何十年と持っているんですけども、誰も教えてくれないから自分でコード付けていたんですけど、いつも自信がない訳“これでいいのかなあって”今回参加して、やっぱりコードって人それぞれの世界がある。本当にそう感じたんです。で、じゃあ自分は自分で今持っている感性みたいなものでもっと広げていければいいなあって思いました。

場数を踏むことが近道かなということはあるんですけどもまだ自信がありません。来年も出来たら参加したいと思います。(Mさん)



アコーディオン歴は 15 年以上あるのですが、伴奏をって言うのは定年になって 1 年ぐらいしてからですから 3 年目ぐらいです。かなり必死でやらなくちゃいけない(笑い)ようになってきました。

今日、特に感じたのはコードって自分を表現すればいいんじゃないかって「希望」もそうですけど、ドッペルドミナントとか、「雪の降る町を」も全部新鮮に今日は聞こえました。だから、市販のものを使ってもちょっと自分で変えてみるとまた感動が広がるかなあって感じました。

大体は参加していますけど、池田先生の仰っていることは最初は殆どチンプンカンプンだったけど、毎年参加していれば 2 割になり 3 割になってくるんですね。行ったらすぐ上手くなる思うんだけど、とんでもない話で(笑い)5 回や 10 回じゃ全然上手くはないと思います。ま、頑張りたいと思います。(Nさん)

実行委員の一人ということもあるんですけども伴奏講座皆勤賞です。でも、私が皆勤賞だと言うと講座の中身の質を問われそうなので…スタートラインはこんなに低かったので(手を床につけるような仕草)。ただ“塵も積もれば山となる”と言いますが、2~3 年前位から薄っすらとその“塵”が見えてきたかなあと言う感じの積み重ねですけど、やっぱり毎年来ていると違うなあっていうのは感じています。

前回から青山クラスと池田クラスの二人になり、更に今回は 1 日目も午前中から始まったので時間配分でも前回よりじっくり受けられたのは良かったと思います。

青山グループでしたけど、グループでやっていて皆が“そこはこういうふうにする”とかって、ベローのアドバイスとか身近で教えてもらえると、聴いているだけと違って「見て」「聴いて」「考えて」また「自分でやって」ってということが一緒にできるのでそれがいい勉強になったと思います。(Sさん)



初参加です。仕事が休めなくて1日目の夜(交流会)からだったので実質1日しか受けられなかったけれど、皆さんのいろいろな経験を聞いてすごく楽しかったので次回は2日間の経験をしたいと思っています。(Uさん)

(次号に講師の感想を載せる予定です)
(写真は練習風景:青山教室のグループの一つ)



